

教育 かしま

第37号

発行日
平成31年3月15日
発行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会 教育総務課
Tel0299-82-2911 (内線532)

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます。

いよいよいきいきゆめプールが完成

大野ふれあいセンター北側に建設していました屋内温水プールがいよいよオープンします。名称は一般公募にて募集し、全国116件の応募から、「いきいきゆめプール」に決定しました。この名称は、市内の小学生児童が「利用するみんながいきいきと夢をもてるといいな」と思いました。また、新しいプールがオープンする年に茨城国体が開催されるので、国体にも関連する名称がいいなと思って考えました。」という思いから名づけられました。

この「いきいきゆめプール」は、学校用プールと市民プールを兼ねたもので、平日の午前中に大野区域の小中学校のプール授業で利用されるほか、学校プールとして使用しない平日の午後や土・日曜日に市民プールとして利用します。また、市民対象の水泳教室や介護予防事業などが予定されており、広く利用されます。

施設の中にはジャグジーや採暖室などもあり1年を通して、水泳や水中ウォークが楽しめます。皆様のご利用をお待ちしています。

- ◇見学会 4月7日(日) 13時～15時
- ◇無料体験 4月9日(火)～4月14日(日) 10時～17時
- ◇通常利用 4月16日(火)～
- ◇開館時間 9時～21時(月曜日休館)

※ただし、5月～11月(夏休み期間を除く)の平日9時～13時は学校用プールで使用するため、一般利用不可。

- ◇料金 小学生未満 無料
- 小中高生・60歳以上 200円
- 一般 410円

※いずれも3時間までごとになります。

<問合せ>
スポーツ推進課
Tel: 0299-82-2911

DATA

- ◇名称:いきいきゆめプール
- ◇場所:鹿嶋市大字津賀1904番地1
2017年12月に工事開始, 2019年3月中旬完成。
- ◇設備
屋内温水プール25M×7コース(うち4コース水深1.15M～1.35M, 3コース水深0.75M), シャワー室, ジャグジー
採暖室, トイレ, 更衣室, 談話室, トレーニング室



併設型中高一貫教育校を開設

Check

2020年度から鹿島高校に県立の附属中学校が設置され、中高一貫教育が行われます。中高合わせた6年間で特色ある取り組みが計画的・継続的に展開され、個性の伸長や社会性・豊かな人間性を育むことが期待されます。

2019年3月26日(火)にレイクエコーにおいて、茨城県主催の説明会が実施されます。

就学前教育の 成果を公開!

近年子どもの育ちが大きく変化していると言われており、これまで以上に幼児教育と小学校へのスムーズな接続が求められています。

鹿嶋市では「地域が育て 地域で育ち 地域を創る鹿嶋っ子」をスローガンに掲げ、子ども達の教育の充実に努めています。特に、幼児教育については、「アプローチ・スタートカリキュラム」を基に平成29年度から2年間茨城県の指定を受けて幼児教育と小学校教育の交流・連携を推進しています。その成果を発表する機会として、三笠幼稚園(1月30日(水))と、認定こども園こじか(2月22日(金))において就学前教育の公開保育が行われました。

どちらの園も、「友達と思いや考えを伝え合い、協力して楽しむ」、「最後まで粘り強く取り組む」ことをねらいとし、遊びの流れに沿って、一人ひとりが主体的に、また友達と協力し合って楽しむことができる環境を設定しました。

遊びを通して
達成するねらいを設定

@三笠幼稚園

氷作りやお店屋さんごっこ、縄跳びなどの遊びが見られました。



美味しいうどんはいかがですか!

園児たちは、友達との関わりを広め、役割を決めたり教え合うことを楽しんだりしていました。また、どうしたら遊びが進められるか、友達と意見を交換し合い、互いに刺激し合ったり、励まし合ったりする姿が見られました。そして何より、目をキラキラさせて楽しそうに遊んでいる園児の姿がとても印象的でした。「遊びは、園児にとって貴重な学び」ということが実感できた2日間になりました。

@認定こども園こじか

ドッジボールや郵便屋さんごっこなどの遊びが見られました。



「ドッジボール」作戦タイム中!

Why don't you join us??

鹿嶋市地域子育て支援センターでは、月に1回、2歳以上のお子さんとその保護者を対象に、英語に親しむイベント「えいごであそぼう!」が行われています。

オーストラリア出身のマイケル・デニング先生と一緒に、英語で歌を歌ったり、体を動かしたりと、楽しい時間を過ごします。

1月は「Twinkle Twinkle Little Star(きらきら星)」と「Head Shoulders Knees and Toes」を歌いました。子ども達は何回か参加することによって、英語の歌が歌えるようになったり、本物の英語に親しむことによって、マイケル先生の英語の問いかけにも反応し、楽しんでいる姿が見られます。

4月以降は下記の日程で行います。クラスは30分程度で申込みは不要です。お問い合わせください。

◇4月18日(木) 11:10頃～ ◇5月23日(木) 11:10頃～
※5月以降も月に1回程度の開催を予定しています。

<問合せ>
鹿嶋市地域子育て支援センター
Tel: 0299-83-4152



1月のクラスの様子。
笑顔と元気がいっぱい!

いきいき茨城ゆめ国体 鹿嶋市開催 PRポスター優秀作品を表彰

いきいき茨城ゆめ国体2019
第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

2019年に茨城県で開催される、第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の開催に向けて、市内の小中学生を対象に、PRポスターを募集しました。

小中学生それぞれの応募の中から最優秀賞と優秀賞が選ばれ、平成30年12月26日(水)に表彰式が行われました。

小学生の部

小学生からは401点の応募があり、最優秀賞には中野西小学校6年生伊藤花音さんが選ばれました。

また、優秀賞として市内の全小学校から選ばれた、24作品が表彰されました。

みんな、たくさん
の応募ありがとう
とラッキー!



▲写真後列、左から7番目が最優秀賞の伊藤さん(小学生の部)



▲写真前列、左から2番目が最優秀賞の加藤さん(中学生の部)

中学生の部

中学生からは31点の応募があり、最優秀賞は、清真かとうまほ学園中学校2年生の加藤真帆さん、優秀賞は、高松中ほしみおん学校2年生の星妙音さんと志筑董さんの2作品が受賞しました。

表彰作品の審査には、鹿嶋市中学校生徒会連携プロジェクト「鹿嶋の元気創出プロジェクト」の一つである『KASHIMA紹介大作戦!』の一環として、市内の中学校生徒会のメンバーたちが携わりました。

また、表彰式の司会進行も、生徒たちが行いました。

ポスター展示しています

小中学生の表彰作品は、茨城国体鹿嶋市開催まで、市内の公共施設等に展示していく予定です。ぜひご鑑賞ください。

- ◇鹿嶋市まちづくり市民センター
3月14日(木)から4月10日(水)まで
- ◇鹿島神宮駅
4月11日(木)から4月24日(水)まで
- ◇ショッピングセンターチェリオ1階
4月25日(木)から5月8日(水)まで

※上記期間以降も、その他施設で展示予定です。



展示中

日本の伝統楽器「尺八」の特別授業が開催されました

日本伝統の和楽器である尺八に親しもうと、1月15日(火)、中野西小学校の6年生のクラスで尺八体験授業が行われました。

講師は尺八奏者の本田敏尋先生ほんだとしひろと坂本勉先生さかもとつとむが務め、児童は尺八の歴史や作り、音が出る仕組みを学びました。その後、本田先生が塩ビ管を使って手作りした尺八が児童一人ひとりに配られ、児童たちは音出しに挑戦していました。実際に吹いてみると、音を出すことが難しく、夢中になって何度もチャレンジしていました。



本田先生から直接指導を受け練習する児童。ほとんどの児童が初めて尺八に触れた。



クラスみんなで音出しに挑戦する様子。

授業の最後に、本田先生と坂本先生が塩ビ管を使って「夏まつり」を演奏しました。練習してみて音を出す大変さを知った児童たちは、真剣に耳を傾けていました。手作りの尺八は児童たちにプレゼントされました。

実際に体験してみて、山口愛央さんやまぐちまおは「尺八は見るのも聴くのも触るのも初めて。すごく音がきれい」、小堀海斗くんこぼりかいとは「音を出すのが難しかった。もらった塩ビ管の尺八を家でも練習したい」と話していました。本田先生は「尺八に限らず、続けることが大事。音が出なくてもコツコツと、継続は力なり」と力強く語って下さいました。

児童たちは、日本伝統楽器の尺八の演奏を聴き、実際に吹いてみるという貴重な体験をすることができました。

春の訪れを告げる さいとうさい はや 祭頭祭のお囃しが響き渡りました

3月9日(土)、鹿島神宮周辺にて祭頭祭が行われました。今年とうばんごうの当番郷は木滝郷なんごう(南郷)でした。当日は晴天に恵まれ、また土曜日が神事日にあたり多くの観光客のなか盛大に披露されました。新発意しほち(大総督)は額賀康佑くんぬかがこうすけ(5歳)が務め、1年を通して行ってきた大役を果たしました。

平成30年4月から、高松小中一貫教育がスタートした高松地区では、同地区内の子とも達から参加者を募り、たくさんの子とも達が当日に向けて準備を進めてきました。当日は高松地区全体から大勢ばやしびとの囃人が参加し、大変にぎやかな1日となりました。



木滝郷の新発意(大総督)を務めた、額賀康佑くん(5歳)。



鹿島神宮を目指し、大町通りをねり歩く囃人たち。

祭頭囃さいとうばやしの行列は信楽哲祭事委員長しがらきあきらの掛け声を合図に、本陣を出陣しました。色鮮やかな衣裳の囃人が、ほら貝や太鼓の音に合わせて、囃し唄を歌い、ガツシ、ガツシと榎の棒を組みながら、仲町通り・角内通り・大町通りを練り歩き、鹿島神宮に囃し込みました。

「イヤートホヨトホヤァー」の囃し唄に合わせて



来年の当番字を決定する、春季祭の様子。

午後6時から鹿島神宮本殿にて、来年の祭頭祭とうばんあざの当番字ぼくていを占しゆんきさい卜定にて決定する神事、春季祭が執り行われました。来年の当番字さほうは、左方ぼくごう(北郷)荒野郷・右方うほう(南郷)溝口郷に決定されました。